

令和3年度 佐世保市の環境問題に関する アンケート集計結果(概要版)

令和4年4月 佐世保市環境部環境政策課

1 アンケートの目的

環境行政を効果的に推進するにあたり、市民や事業者の問題意識や取組状況、環境行政へのニーズを把握し、今後の環境行政の展開に活用する。

また、佐世保市環境基本計画の成果指標となっている項目の達成度を当該アンケートにより把握するもの。

2 アンケートの対象

(1) 市民

佐世保市内に居住する20歳以上の男女(令和4年1月1日現在)のうち、支所及び行政センター管轄別の人口割合に応じて無作為に抽出した3,000名(男性1,500名、女性1,500名)

(2) 事業所

佐世保市内の事業所から無作為に抽出した250事業所

3 調査方法

郵送による配布・回収(督促なし)

4 調査期間

令和4年2月4日(金)～3月4日(金)

5 回収結果

(1) 市民 : 1,196名(回収率:39.9%)

(2) 事業所 : 112事業所(回収率:44.8%)

6 調査結果

関心が高い環境問題について

《市民》

最も関心が高い項目は、前年度と同じく「地球温暖化」であった。

前年度より「再生可能エネルギー」、「騒音、振動」の関心が高くなっている。

(関心が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
1	地球温暖化	890	74.4%	△2.8	77.2%
2	食品ロス	687	57.4%	△3.2	60.6%
3	ごみのポイ捨てと不法投棄	682	57.0%	△1.7	58.7%
4	ごみの減量、リサイクル	632	52.8%	△7.0	59.8%
5	大気汚染(空気の汚れ)	569	47.6%	△6.4	54.0%
6	プラスチックごみ	506	42.3%	-	-
7	再生可能エネルギー	503	42.1%	1.1	40.9%
8	排水による、川や海の水の汚れ	492	41.1%	△4.3	45.5%
9	身近な自然の減少	364	30.4%	0.3	30.1%
10	外来種の繁殖による生態系などへの影響	350	29.3%	△2.6	31.9%
11	野生生物や希少な動植物の減少	255	21.3%	△1.2	22.5%
12	騒音、振動	252	21.1%	2.5	18.5%
13	悪臭	206	17.2%	△2.0	19.2%
14	土壌汚染	195	16.3%	△2.4	18.7%
15	その他	51	4.3%	1.0	3.2%
16	無回答	15	1.3%	△2.0	3.2%
合計		6,649			

※ 有効回答数(N):1,196名

《事業所》

最も関心が高い項目は、前年度と同じく「地球温暖化」であった。

前年度より「再生可能エネルギー」、「土壌汚染」の関心が高くなっている。

(関心が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
1	地球温暖化	67	59.8%	△3.0	62.8%
2	ごみの減量、リサイクル	57	50.9%	△2.2	53.1%
3	再生可能エネルギー	49	43.8%	3.9	39.8%
4	プラスチックごみ	47	42.0%	-	-
5	排水による、川や海の水の汚れ	43	38.4%	0.3	38.1%
6	大気汚染(空気の汚れ)	40	35.7%	△10.3	46.0%
6	ごみのポイ捨てと不法投棄	40	35.7%	△5.9	41.6%
8	食品ロス	37	33.0%	0.3	32.7%
9	身近な自然の減少	21	18.8%	△3.4	22.1%
10	騒音、振動	20	17.9%	△9.6	27.4%
10	土壌汚染	20	17.9%	2.8	15.0%
12	悪臭	17	15.2%	△2.5	17.7%
13	野生生物や希少な動植物の減少	12	10.7%	△0.8	11.5%
13	外来種の繁殖による生態系などへの影響	12	10.7%	△9.6	20.4%
15	無回答	4	3.6%	0.9	2.7%
16	その他	0	0.0%	△0.9	0.9%
合計		486			

※ 有効回答数(N):112事業所

住まいの周辺環境の満足度

《市民のみ》

「満足」又は「やや満足」と回答した人が多かった項目は、前年度と同様に「自然の景観の美しさ」であり、「環境に関する講座や観察会などのイベント」が最も低かった。

(「満足」、「やや満足」と回答した人の割合が高い順)

No.	質問事項 ()内の数値は「満足」、「やや満足」と回答した人の割合の合計	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答	合計
1	自然の景観の美しさ (62.1%)	188 15.7%	555 46.4%	270 22.6%	108 9.0%	23 1.9%	52 4.3%	1,196 100%
2	ごみが決められたルールどおりに出されるようにするための取り組み (53.9%)	150 12.5%	495 41.4%	280 23.4%	185 15.5%	37 3.1%	49 4.1%	1,196 100%
3	まちの静けさ (騒音や振動など) (49.3%)	179 15.0%	411 34.4%	321 26.8%	186 15.6%	52 4.3%	47 3.9%	1,196 100%
4	空気のきれいさ (車の排気ガス、空気のかすみなど) (44.6%)	132 11.0%	402 33.6%	369 30.9%	189 15.8%	53 4.4%	51 4.3%	1,196 100%
5	まちの清潔さ・きれいさ (ごみの散乱・ペットのふんなど) (42.1%)	84 7.0%	420 35.1%	288 24.1%	281 23.5%	79 6.6%	44 3.7%	1,196 100%
6	ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み (42.0%)	89 7.4%	413 34.5%	458 38.3%	159 13.3%	25 2.1%	52 4.3%	1,196 100%
7	地産地消の推進 (40.0%)	65 5.4%	413 34.5%	475 39.7%	140 11.7%	39 3.3%	64 5.4%	1,196 100%
8	海、山、川、里山などの自然環境の保全 (37.6%)	66 5.5%	384 32.1%	445 37.2%	198 16.6%	47 3.9%	56 4.7%	1,196 100%
9	自然とふれあう機会 (水辺、農地や土、生きものなど) (37.0%)	78 6.5%	365 30.5%	469 39.2%	185 15.5%	38 3.2%	61 5.1%	1,196 100%
10	水のきれいさ (河川・水路・池沼・海など) (36.5%)	66 5.5%	371 31.0%	417 34.9%	234 19.6%	53 4.4%	55 4.6%	1,196 100%
11	環境に関する市からの情報提供 (広報紙、テレビ、ホームページなど) (27.1%)	55 4.6%	269 22.5%	603 50.4%	162 13.5%	51 4.3%	56 4.7%	1,196 100%
12	公共交通機関の便利さ (23.9%)	54 4.5%	232 19.4%	250 20.9%	348 29.1%	266 22.2%	46 3.8%	1,196 100%
13	再生可能エネルギーの推進(太陽光、風力、水力発電などの、枯渇しないエネルギー) (19.6%)	31 2.6%	204 17.1%	671 56.1%	162 13.5%	65 5.4%	63 5.3%	1,196 100%
14	省エネルギーの取り組み (19.4%)	26 2.2%	206 17.2%	718 60.0%	147 12.3%	36 3.0%	63 5.3%	1,196 100%
15	自治会やNPO団体などの環境保全活動 (15.6%)	26 2.2%	160 13.4%	796 66.6%	119 9.9%	36 3.0%	59 4.9%	1,196 100%
16	環境に関する講座や観察会などのイベント (10.0%)	14 1.2%	106 8.9%	839 70.2%	145 12.1%	30 2.5%	62 5.2%	1,196 100%

住まいの周辺環境の重要度

《市民のみ》

「重要」又は「やや重要」と回答した人が多かった項目は、「まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱・ペットのふんなど)」であり、「環境に関する講座や観察会などのイベント」が最も低かった。

(「重要」、「やや重要」と回答した人の割合が高い順)

No.	質問事項 ()内の数値は「重要」、「やや重要」と回答した人の割合の合計	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり でない 重要	重要 でない	無 回 答	合 計
1	まちの清潔さ・きれいさ (ごみの散乱・ペットのふんなど) (85.3%)	723 60.5%	297 24.8%	69 5.8%	5 0.4%	2 0.2%	100 8.4%	1,196 100%
2	水のきれいさ (河川・水路・池沼・海など) (84.5%)	757 63.3%	254 21.2%	78 6.5%	3 0.3%	2 0.2%	102 8.5%	1,196 100%
3	海、山、川、里山などの自然環境の保全 (84.0%)	740 61.9%	265 22.2%	79 6.6%	4 0.3%	2 0.2%	106 8.9%	1,196 100%
4	空気のきれいさ (車の排気ガス、空気のかすみなど) (83.6%)	762 63.7%	238 19.9%	83 6.9%	5 0.4%	2 0.2%	106 8.9%	1,196 100%
5	ごみが決められたルールどおりに出されるように するための取り組み (82.7%)	694 58.0%	295 24.7%	92 7.7%	6 0.5%	3 0.3%	106 8.9%	1,196 100%
6	ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み (82.2%)	672 56.2%	311 26.0%	97 8.1%	6 0.5%	6 0.5%	104 8.7%	1,196 100%
7	自然の景観の美しさ (80.9%)	604 50.5%	363 30.4%	109 9.1%	15 1.3%	2 0.2%	103 8.6%	1,196 100%
8	公共交通機関の便利さ (79.6%)	566 47.3%	386 32.3%	125 10.5%	11 0.9%	5 0.4%	103 8.6%	1,196 100%
9	まちの静けさ (騒音や振動など) (76.8%)	480 40.1%	439 36.7%	154 12.9%	16 1.3%	3 0.3%	104 8.7%	1,196 100%
10	省エネルギーの取り組み (75.5%)	568 47.5%	335 28.0%	173 14.5%	7 0.6%	5 0.4%	108 9.0%	1,196 100%
11	自然とふれあう機会 (水辺、農地や土、生きものなど) (75.2%)	492 41.1%	407 34.0%	171 14.3%	12 1.0%	2 0.2%	112 9.4%	1,196 100%
12	再生可能エネルギーの推進(太陽光、風力、水力 発電などの、枯渇しないエネルギー) (74.4%)	623 52.1%	267 22.3%	183 15.3%	12 1.0%	7 0.6%	104 8.7%	1,196 100%
13	地産地消の推進 (73.2%)	501 41.9%	375 31.4%	195 16.3%	12 1.0%	2 0.2%	111 9.3%	1,196 100%
14	環境に関する市からの情報提供 (広報紙、テレビ、ホームページなど) (62.4%)	355 29.7%	391 32.7%	301 25.2%	26 2.2%	8 0.7%	115 9.6%	1,196 100%
15	自治会やNPO団体などの環境保全活動 (48.6%)	229 19.1%	352 29.4%	463 38.7%	23 1.9%	15 1.3%	114 9.5%	1,196 100%
16	環境に関する講座や観察会などのイベント (41.9%)	188 15.7%	313 26.2%	512 42.8%	53 4.4%	17 1.4%	113 9.4%	1,196 100%

環境に関する経営方針や管理手法の導入

《事業所のみ》

「既に実施している」又は「今後、実施したい」と回答した事業所の割合が最も多かった項目は、「環境に関する内部監査の実施」の12.5%であり、全体的に環境に関する経営方針や管理手法の導入への意識は高まっているが、積極的には進んでいない。

(「既に実施している」、「今後、実施したい」と回答した事業所の割合が高い順)

No.	質問事項 ()内の数値は「既に実施している」、 「今後、実施したい」と 回答した人の割合の合計	既 に 実 施 し て い る	実 施 し た い 今 後 、	現 在 、 検 討 中 で あ る	実 施 の 予 定 は な い	ど の よ な も の か 知 ら な い	無 回 答	合 計
1	環境に関する内部監査の実施 (12.5%[8.8%])	11 9.8%	3 2.7%	10 8.9%	63 56.3%	16 14.3%	9 8.0%	112 100%
2	環境担当部門や担当者の配置 (11.6%[11.5%])	11 9.8%	2 1.8%	8 7.1%	69 61.6%	13 11.6%	9 8.0%	112 100%
3	環境報告書の作成 (10.7%[8.0%])	9 8.0%	3 2.7%	7 6.3%	69 61.6%	15 13.4%	9 8.0%	112 100%
4	自主的な環境管理計画(環境に配慮した原材料、物品、 サービスなどの購入ガイドライン)の策定 (9.8%[9.7%])	9 8.0%	2 1.8%	13 11.6%	61 54.5%	17 15.2%	10 8.9%	112 100%
5	ISO14001の認証取得 (8.0%[10.6%])	8 7.1%	1 0.9%	7 6.3%	66 58.9%	20 17.9%	10 8.9%	112 100%
6	その他の環境マネジメントシステムの導入 (5.4%[3.5%])	2 1.8%	4 3.6%	7 6.3%	66 58.9%	21 18.8%	12 10.7%	112 100%
7	エコアクション21の認証取得 (2.7%[3.5%])	1 0.9%	2 1.8%	11 9.8%	57 50.9%	32 28.6%	9 8.0%	112 100%
8	その他 (-)[-]	0 -	0 -	1 0.9%	0 -	0 -	111 99.1%	112 100%

日頃行っている環境保全の取り組み

《市民》

「いつも行っている」又は「時々行っている」と回答した人の割合が高かった項目は、前年度と同様に「ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている」であった。

(「いつも行っている」、「時々行っている」と回答した人の割合が高い順)

No.	質問事項 ()内の数値は「いつも行っている」、 「時々行っている」と回答した人の割合の 合計、[]内は前年度の割合※	行 つ つ い も る	行 つ つ て い る 時 々	行 つ つ て い な い が 今 後 行 い たい	い 、 ま た は 行 つ て い な い 今 後 も 行 わ な い	該 当 し な い	無 回 答	合 計
1	ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている (94.0%[93.4%])	961 80.4%	163 13.6%	25 2.1%	3 0.3%	-	44 3.7%	1,196 100%
2	油や食べ残しを排水口へ流さないようにしている (91.4%[91.0%])	883 73.8%	210 17.6%	45 3.8%	10 0.8%	-	48 4.0%	1,196 100%
3	買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている (90.5%[90.0%])	866 72.4%	216 18.1%	32 2.7%	35 2.9%	-	47 3.9%	1,196 100%
4	車を使用する時は、不要なアイドリング、空ぶかしや急発進などをしないようにしてエコドライブを行っている (89.4%[89.7%])	756 70.7%	200 18.7%	46 4.3%	18 1.7%	127	49 4.6%	1,069 100%
5	食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さないようにするなど、エコクッキングを行っている (85.8%[86.1%])	646 54.0%	380 31.8%	93 7.8%	28 2.3%	-	49 4.1%	1,196 100%
5	物は大切に、修理したりして長く使うようにしている (85.8%[85.1%])	549 45.9%	477 39.9%	109 9.1%	15 1.3%	-	46 3.8%	1,196 100%
7	歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使ったり、日常の生活で節水に努めている (83.9%[83.4%])	613 51.3%	391 32.7%	103 8.6%	39 3.3%	-	50 4.2%	1,196 100%
8	シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている (82.3%[81.0%])	512 50.4%	323 31.8%	96 9.5%	33 3.3%	181	51 5.0%	1,015 100%
9	詰め替え商品や再使用、再生利用しやすい商品やエコマークのついた商品を優先して購入している (75.9%[75.0%])	499 41.7%	409 34.2%	169 14.1%	68 5.7%	-	51 4.3%	1,196 100%
10	皿洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使うようにしている (75.8%[78.8%])	515 43.1%	392 32.8%	140 11.7%	97 8.1%	-	52 4.3%	1,196 100%
11	テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いたり、省エネに心がけている (73.7%[73.8%])	417 34.9%	465 38.9%	187 15.6%	80 6.7%	-	47 3.9%	1,196 100%
11	食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている (73.7%[76.7%])	351 29.3%	531 44.4%	206 17.2%	57 4.8%	-	51 4.3%	1,196 100%
13	生ごみ袋の水分を絞ったり、乾燥させて軽量化させたり、生ごみの減量に取り組んでいる (72.1%[74.1%])	487 40.7%	375 31.4%	213 17.8%	71 5.9%	-	50 4.2%	1,196 100%
14	冷暖房を使うときの室温は、冷房28℃・暖房20℃を目安としている (58.8%[64.9%])	340 28.4%	363 30.4%	242 20.2%	190 15.9%	-	61 5.1%	1,196 100%
15	山や海などの自然にふれあう機会を持っている (53.9%[51.3%])	208 17.4%	437 36.5%	351 29.3%	139 11.6%	-	61 5.1%	1,196 100%
16	地域における環境保全活動に参加している (地域の清掃、資源集団回収など) (50.8%[51.2%])	317 26.5%	291 24.3%	300 25.1%	234 19.6%	-	54 4.5%	1,196 100%
17	なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を心がけている (42.1%[47.1%])	209 17.5%	294 24.6%	305 25.5%	326 27.3%	-	62 5.2%	1,196 100%
18	環境家計簿をつけ、環境に優しい日常生活となっているかチェックしている (25.5%[28.0%])	140 11.7%	165 13.8%	381 31.9%	428 35.8%	-	82 6.9%	1,196 100%
19	環境保全に関するイベントや講座などに参加している (させばエコプラザ・九十九島ビジターセンターなど) (5.2%[5.8%])	17 1.4%	45 3.8%	510 42.6%	557 46.6%	-	67 5.6%	1,196 100%

※「該当しない」を除いた割合で計算

日頃行っている環境保全の取り組み

《事業所》

「いつも行っている」又は「時々行っている」と回答した事業所が最も多かった項目は、前年度と同様に「紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、分別して適正に処理している」であった。

(「いつも行っている」、「時々行っている」と回答した人の割合が高い順)

No.	質問事項 ()内の数値は「いつも行っている」、 「時々行っている」と回答した事業所の割合の 合計、[]内は前年度の割合※	行 つ て い る	行 つ て い る 時 々	行 つ て い ない が 今 後 行 い たい	い ま も 行 わ な い 、 ま た は 行 っ て い ない	該 当 し な い	無 回 答	合 計
1	紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、分別して適正に処理している (91.6%[81.1%])	91 85.0%	7 6.5%	5 4.7%	2 1.9%	5 -	2 1.9%	107 100%
2	コピー用紙の使用量を減らしている (両面コピーや裏紙の利用等) (83.0%[76.1%])	58 51.8%	35 31.3%	7 6.3%	9 8.0%	-	3 2.7%	112 100%
3	ごみの分別に関する従業員への指導を実施している (82.1%[69.9%])	57 50.9%	35 31.3%	7 6.3%	11 9.8%	-	2 1.8%	112 100%
4	昼休み等、不要な時は電気を消灯している (77.7%[79.6%])	61 54.5%	26 23.2%	10 8.9%	13 11.6%	-	2 1.8%	112 100%
5	冷暖房の時間短縮や設定温度(目安:冷房28℃、暖房20℃)を徹底している (70.5%[69.9%])	46 41.1%	33 29.5%	18 16.1%	14 12.5%	-	1 0.9%	112 100%
6	コピー用紙には再生紙を使用している (67.0%[73.5%])	47 42.0%	28 25.0%	18 16.1%	15 13.4%	-	4 3.6%	112 100%
7	古紙を使ったトイレトペーパーを使用している (66.1%[71.7%])	41 36.6%	33 29.5%	21 18.8%	11 9.8%	-	6 5.4%	112 100%
8	不必要なアイドルングをやめるよう徹底している (63.4%[56.6%])	41 36.6%	30 26.8%	19 17.0%	17 15.2%	-	5 4.5%	112 100%
9	包装・梱包の削減、再利用をすすめている (57.1%[54.9%])	27 24.1%	37 33.0%	23 20.5%	21 18.8%	-	4 3.6%	112 100%
10	事業所内や周辺地域の緑化に努めたり、事業所周辺や、公園・道路の清掃など地域活動へ参加したりしている (47.3%[54.9%])	21 18.8%	32 28.6%	36 32.1%	19 17.0%	-	4 3.6%	112 100%
11	エコカー(低公害車や低燃費車)を導入している (44.6%[49.6%])	33 29.5%	17 15.2%	33 29.5%	24 21.4%	-	5 4.5%	112 100%
12	グリーン購入を行っている (42.9%[33.6%])	13 11.6%	35 31.3%	36 32.1%	23 20.5%	-	5 4.5%	112 100%
13	省エネのため製造工程や製造ラインを改善している (37.2%[34.7%])	7 16.3%	9 20.9%	13 30.2%	10 23.3%	69	4 9.3%	43 100%
14	省エネのための効率的な輸配送システムがある (25.5%[18.8%])	6 12.8%	6 12.8%	18 38.3%	15 31.9%	65	2 4.3%	47 100%
15	使用していない時は、パソコンやコピー機等のコンセントを抜いている (25.0%[31.0%])	11 9.8%	17 15.2%	34 30.4%	47 42.0%	-	3 2.7%	112 100%
16	自社製品、サービスにおける環境配慮内容を明示している (18.8%[15.9%])	12 10.7%	9 8.0%	32 28.6%	51 45.5%	-	8 7.1%	112 100%
17	環境保全に関する従業員研修を実施している (17.9%[12.4%])	8 7.1%	12 10.7%	38 33.9%	52 46.4%	-	2 1.8%	112 100%
18	雨水や一時使用した水を再利用している (16.1%[15.9%])	8 7.1%	10 8.9%	17 15.2%	73 65.2%	-	4 3.6%	112 100%
19	ノーマイカーデーを導入するなど、従業員のマイカー出勤を自粛させている (9.1%[5.7%])	3 3.4%	5 5.7%	16 18.2%	60 68.2%	24	4 4.5%	88 100%

※「該当しない」を除いた割合で計算。

日常の取り組みで障害と感じていること

《市民》

障害と感じている人の割合が最も多かった項目は、前年度と同様に「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い」であった。

(障害と感じている割合が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
1	環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	467	39.0%	4.5	34.6%
2	手間がかかる	307	25.7%	1.7	24.0%
3	取り組んだ成果が実感できない	287	24.0%	3.4	20.6%
4	取り組みを持続することが難しい	272	22.7%	△ 0.7	23.4%
5	何をどのように取り組めば良いのかわからない	227	19.0%	△ 3.7	22.7%
6	特に障害を感じることはない	203	17.0%	△ 7.2	24.2%
7	取り組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	202	16.9%	2.8	14.1%
8	取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない	197	16.5%	5.4	11.0%
9	無回答	178	14.9%	2.8	12.0%
10	行うきっかけがない	131	11.0%	△ 1.9	12.8%
11	今の生活が快適なので、変えたくない	77	6.4%	△ 3.4	9.9%
12	その他	42	3.5%	△ 1.0	4.6%
合 計		2,590			

※ 有効回答数(N):1,196名

《事業所》

障害と感じている事業所の割合が最も高かった項目は、「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い」であった。

(障害と感じている割合が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
1	環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	40	35.7%	△ 0.6	36.3%
2	何をどのように取り組めば良いのかわからない	34	30.4%	△ 1.5	31.9%
3	手間がかかる	32	28.6%	△ 6.8	35.4%
4	取り組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	28	25.0%	4.6	20.4%
4	特に障害を感じることはない	28	25.0%	4.6	20.4%
6	取り組みを持続することが難しい	23	20.5%	5.5	15.0%
7	取り組んだ成果が実感できない	20	17.9%	△ 2.5	20.4%
7	行うきっかけがない	20	17.9%	3.7	14.2%
9	取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない	17	15.2%	1.9	13.3%
10	自社だけ取り組んでも仕方がないと思う	9	8.0%	3.6	4.4%
10	表彰、認証制度がない	9	8.0%	5.4	2.7%
12	無回答	7	6.3%	△ 4.4	10.6%
13	その他	3	2.7%	0.9	1.8%
合 計		270			

※ 有効回答数(N):112事業所

省エネルギー・再生可能エネルギー関連機器の設置・利用について
《市民》

No.	質問事項 ()内の数値は、「現在利用している」、「今後導入を考えたい」、「安くなれば導入したい」と回答した人の割合の合計	現在利用している	今後導入を考えたい	安くしなければ導入	導入はするつもり	わからない	無回答	合計
1	電気自動車 (51.3%)	35 2.9%	114 9.5%	464 38.8%	226 18.9%	181 15.1%	176 14.7%	1,196 100%
2	太陽光発電 (39.4%)	119 9.9%	58 4.8%	294 24.6%	372 31.1%	179 15.0%	174 14.5%	1,196 100%
3	家庭用燃料電池 (エネファーム) (32.4%)	26 2.2%	52 4.3%	309 25.8%	306 25.6%	312 26.1%	191 16.0%	1,196 100%
4	家庭用蓄電池 (41.4%)	36 3.0%	88 7.4%	371 31.0%	250 20.9%	272 22.7%	179 15.0%	1,196 100%
5	ヒートポンプ給湯器(エコキュート) (48.0%)	280 23.4%	54 4.5%	240 20.1%	205 17.1%	237 19.8%	180 15.1%	1,196 100%
6	再エネ100%電気 (36.1%)	52 4.3%	72 6.0%	308 25.8%	180 15.1%	383 32.0%	201 16.8%	1,196 100%
7	家庭エコ診断 (23.5%)	10 0.8%	90 7.5%	181 15.1%	242 20.2%	469 39.2%	204 17.1%	1,196 100%
8	カーシェアリング (13.5%)	10 0.8%	45 3.8%	106 8.9%	531 44.4%	306 25.6%	198 16.6%	1,196 100%
9	住宅のZEH化 (27.3%)	24 2.0%	40 3.3%	263 22.0%	275 23.0%	400 33.4%	194 16.2%	1,196 100%

エコ資金について

《事業所のみ》

No.	質問事項	回答数	割合	前年度比	前年度
1	名前も具体的な内容も知っている	3	2.7%	1.8	0.9%
2	名前は知っているが、具体的な内容は知らない	17	15.2%	△ 13.1	28.3%
3	初めて聞く名前である	86	76.8%	14.8	61.9%
4	無回答	6	5.4%	△ 3.5	8.8%
合計		112			

脱炭素に関する技術・サービスについて 《事業所》

No.	質問事項	提供者として 関心がある	利用者として 関心がある	関心はない	無回答	合計
1	建築物の省エネ性能向上 (ZEB化等)	8	43	34	27	112
		7.1%	38.4%	30.4%	24.1%	100%
2	ESCO事業 (省エネルギー改修にかかる経費を 光熱水費の削減分で賄う事業)	4	44	37	27	112
		3.6%	39.3%	33.0%	24.1%	100%
3	EMS、AI、IoTによるエネルギー需要機器 の最適制御	3	38	44	28	113
		2.7%	33.6%	38.9%	24.8%	100%
4	ICTを活用した電力・ガス等の使用量 の見える化	3	46	36	27	112
		2.7%	41.1%	32.1%	24.1%	100%
5	ロボットやAIによる作業の自動化・効率化	4	36	43	29	112
		3.6%	32.1%	38.4%	25.9%	100%
6	太陽光発電のPPA事業 (需要家の敷地等に、事業者が 太陽光発電システムなどを設置し、運用・保守を行う事業)	7	28	52	25	112
		6.3%	25.0%	46.4%	22.3%	100%
7	RE100・再エネ100%電気	3	39	45	25	112
		2.7%	34.8%	40.2%	22.3%	100%
8	バイオマスボイラー	1	18	66	27	112
		0.9%	16.1%	58.9%	24.1%	100%
9	小型バイオマス発電	1	18	66	27	112
		0.9%	16.1%	58.9%	24.1%	100%
10	水素の製造	3	10	72	27	112
		2.7%	8.9%	64.3%	24.1%	100%
11	水素の貯蔵・運搬	3	11	71	27	112
		2.7%	9.8%	63.4%	24.1%	100%
12	水素の利用 (FCV、業務・産業用燃料電池等)	2	17	65	28	112
		1.8%	15.2%	58.0%	25.0%	100%
13	熱融通・地域熱供給 (熱源設備の集中管理を行い、 効率的に熱エネルギーを製造し地域に供給するシステム)	3	18	65	26	112
		2.7%	16.1%	58.0%	23.2%	100%
14	蓄電池	4	45	36	27	112
		3.6%	40.2%	32.1%	24.1%	100%
15	自動車のEV/PHEV/FCVへの更新	6	56	28	23	113
		5.3%	49.6%	24.8%	20.4%	100%
16	CO2分離回収 (排出源の種類や濃度等に応じて、 CO2を分離させ、回収する技術)	3	25	58	26	112
		2.7%	22.3%	51.8%	23.2%	100%
17	CO2の原料利用 (カーボンリサイクルという考えのもと、 化学品、燃料等で再利用)	3	24	59	26	112
		2.7%	21.4%	52.7%	23.2%	100%

脱炭素に関する技術・サービスの開発・提供について

《事業所のみ》

1. 建築物の省エネ性能向上

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	8	7.1%
利用者として関心がある	43	38.4%
関心はない	34	30.4%
無回答	27	24.1%
合計	112	

2. ESCO事業

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	4	3.6%
利用者として関心がある	44	39.3%
関心はない	37	33.0%
無回答	27	24.1%
合計	112	

3. EMS、AI、IoTによるエネルギー需要機器の最適制御

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	3	2.7%
利用者として関心がある	38	33.6%
関心はない	44	38.9%
無回答	28	24.8%
合計	113	

4. ICTを活用した電力・ガス等の使用量の見える化

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	3	2.7%
利用者として関心がある	46	41.1%
関心はない	36	32.1%
無回答	27	24.1%
合計	112	

5. ロボットやAIによる作業の自動化・効率化

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	4	3.6%
利用者として関心がある	36	32.1%
関心はない	43	38.4%
無回答	29	25.9%
合計	112	

6. 太陽光発電のPPA事業

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	7	6.3%
利用者として関心がある	28	25.0%
関心はない	52	46.4%
無回答	25	22.3%
合計	112	

7. RE100・再エネ100%電気

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	3	2.7%
利用者として関心がある	39	34.8%
関心はない	45	40.2%
無回答	25	22.3%
合計	112	

8. バイオマスボイラー

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	1	0.9%
利用者として関心がある	18	16.1%
関心はない	66	58.9%
無回答	27	24.1%
合計	112	

9. 小型バイオマス発電

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	1	0.9%
利用者として関心がある	18	16.1%
関心はない	66	58.9%
無回答	27	24.1%
合計	112	

10. 水素の製造

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	3	2.7%
利用者として関心がある	10	8.9%
関心はない	72	64.3%
無回答	27	24.1%
合計	112	

11. 水素の貯蔵・運搬

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	3	2.7%
利用者として関心がある	11	9.8%
関心はない	71	63.4%
無回答	27	24.1%
合計	112	

12. 水素の利用

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	2	1.8%
利用者として関心がある	17	15.2%
関心はない	65	58.0%
無回答	28	25.0%
合計	112	

13. 熱融通・地域熱供給

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	3	2.7%
利用者として関心がある	18	16.1%
関心はない	65	58.0%
無回答	26	23.2%
合計	112	

14. 蓄電池

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	4	3.6%
利用者として関心がある	45	40.2%
関心はない	36	32.1%
無回答	27	24.1%
合計	112	

15. 自動車のEV/PHEV/FCVへの更新

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	6	5.3%
利用者として関心がある	56	49.6%
関心はない	28	24.8%
無回答	23	20.4%
合計	113	

16. CO2分離回収

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	3	2.7%
利用者として関心がある	25	22.3%
関心はない	58	51.8%
無回答	26	23.2%
合計	112	

17. CO2の原料利用

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	3	2.7%
利用者として関心がある	24	21.4%
関心はない	59	52.7%
無回答	26	23.2%
合計	112	

「食品ロス」について

《市民のみ》

■ 日本の「食品ロス」の状況について、知っていたか。

項目	回答数	割合
知っていた	875	73.2%
知らなかった	166	13.9%
無回答	155	13.0%
合計	1,196	

■ これまでに、食品を食べることができずに、捨てたことはありますか。

項目	回答数	割合
捨てたことがある	900	75.3%
捨てたことはない	140	11.7%
無回答	156	13.0%
合計	1,196	

■ 「捨てたことがある」と答えた方において、捨てた理由

項目	回答数	割合
食品の鮮度が落ちたり、腐ったり、カビが生えたから	710	78.9%
食品の消費期限・賞味期限を過ぎたから	554	61.6%
食品の色やにおいなどで、不安を感じたから	470	52.2%
食品が中途半端に余ったから	161	17.9%
その他	26	2.9%
合計	1,921	

※ 有効回答数(N):900名

■ 食品ロスをなくす取り組みをしているか

項目	回答数	割合
いつも行っている	366	30.6%
時々行っている	517	43.2%
行っているが、今後取り組んでみたい	109	9.1%
行っていないし、今後も取り組みたいと思わない	6	0.5%
無回答	198	16.6%
合計	1,196	

「古紙類の資源化」について

《市民のみ》

■ 臭いや汚れのついた紙、加工された紙は「燃やせるごみ」になることを、知っていたか。

項目	回答数	割合
知っていた	1,107	92.6%
知らなかった	60	5.0%
無回答	29	2.4%
合計	1,196	

■ 資源になる「古紙類」を燃やせるごみに出したことがあるか。

項目	回答数	割合
ある	530	44.3%
ない	632	52.8%
無回答	34	2.8%
合計	1,196	

■ 「古紙類」を燃やせるごみに出したことが「ある」と回答した方において、どのような古紙を燃やせるごみに出したか。

項目	回答数	割合
新聞	88	16.6%
雑誌(週刊誌、漫画、カタログなど)	134	25.3%
飲料用紙パック(牛乳パックなど)	293	55.3%
雑古紙(空き箱、封筒、メモ用紙、包装紙など)	404	76.2%
段ボール	75	14.2%
合計	994	

※ 有効回答数(N):530名

■ 古紙を燃やせるごみに出した理由

項目	回答数	割合
分別がわずらわしい	157	29.6%
資源物収集の日まで待てない	172	32.5%
置いておく場所がない	154	29.1%
資源として再生できると思っていない	33	6.2%
資源として再生する必要がないと思っている	10	1.9%
資源物として分別するべきことを知らなかった	46	8.7%
何が「資源になる古紙類」に該当するか分からない	71	13.4%
その他	119	22.5%
合計	762	

※ 有効回答数(N):530名